

第7回リカジョ育成賞 -奨励賞-

テーマ	情報教育をインクルーシブに～女子中学校と取り組む、教科横断的な情報活用能力の育成～
受賞者名	特定非営利活動法人みんなのコード 講師・研究開発担当 千石一朗

活動紹介	<p>2030年代の学習指導要領改訂に向けて、インクルーシブな情報教育(少なくとも、女子が情報嫌いにならない)を提案するために、日本女子大学附属中学校と「教科横断的な情報活用能力の育成に関する連携協定」を締結し、テクノロジー分野の教育の充実と、情報活用能力の育成を図るカリキュラムを開発。</p> <p>女子の興味・関心を高めるために、授業づくりのプロセスを改善した。同性の先生から教わる方がより記憶に残りやすいという内閣府のデータに着目し、普段から同校で技術・家庭科を担当する女性の先生方に指導してもらった。</p> <p>みんなのコードは、技術分野を扱うのが初めての先生でも教えられるよう、授業設計・授業スライド作成等の支援を実施。みんなのコード社内の女性メンバーや、実際に指導にあたる女性の先生のレビューを受けることで、女性目線でブラッシュアップさせた。これにより、女性の先生による女子生徒に響く授業の内容になったことに加え、みんなのコード支援終了後も、先生方のみで自走可能な形になった。</p> <p>■授業を担当した先生の声</p> <p>教材に女子が親しみやすい題材を取り入れられていたのがよかった。また女子校のメリットにもなるが、男子の目を気にせずテクノロジーに触れることができ、生徒が失敗を気にせず伸び伸びと授業に参加できていた。そうした環境づくりも大切なのではないかと思う。</p>
PRメッセージ	<p>これまでの技術科の教科書や教材は、男性だけで企画・制作されるものがほとんど。男性だけでカリキュラムを作成することが、女子がテクノロジー分野への興味関心を失う、1つのきっかけではないかと考えている。今後みんなのコードは、「学校教育が、テクノロジー分野のジェンダーギャップを解消」出来るよう、本取組で得られた知見をもとに、次期学習指導要領のあり方を提言していく。</p>



➤ 連携協定の締結



➤ 教員研修の様子



➤ 女子生徒が親しみを持つ授業スライド



➤ 授業の様子